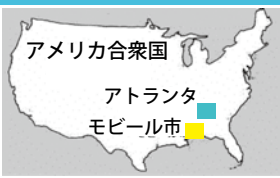


姉妹都市 **This is Mobile City**
モバイルはこんな都市

面積 478 km²
 人口 190,935 人 (2005 年調査)
 気候 年間平均気温 18.2℃。一年中温暖で、夏はスコールが多く蒸し暑い。
 位置 原油流出事故があったメキシコ湾に面し、海岸部の中央にモバイル港を擁しています。
 そのほか 華やかなパレードによる祭り『マルディグラ』に多くの見物客が集まります。映画『フォレスト・ガンブ』の舞台になり、観光都市として注目を浴びています。



活動報告 **Seeing is Believing 『百聞は一見に如かず』**
見た！体験した！交流した！10 日間



思い出がいっぱい…
 ①市長 (写真中央) や教育長 (前列左端) を訪問 (7/26)、
 ②市原 FM 放送 (株) に生出演 (7/27)、
 ③座禅体験 (7/27)、④和太鼓体験 (7/28)、⑤さよならパーティ (7/30)
 ⑥青少年派遣生と市民まつりに参加 (8/1)
 上記のほか、三井造船 (株) 千葉事業所の工場見学や、茶道の体験、剣道の体験 (中央武道館)、市原中央高等学校の生徒との交流、青少年意見交換会などで、知識を深めました。

青少年受入事業
姉妹都市間の交流

今年度は、青少年 11 人と引率者 2 人が来市し、それぞれのホームステイ先で、日本の生活習慣を体験しました。そのほか、意見交換会で、本市の青少年と交流を深めたり、日本の伝統文化に触れたりしました (左側参照)。



平成 21 年度青少年派遣生が司会を担当 (意見交換会)

市では、平成 5 年 11 月にモバイル市 (アメリカ合衆国アラバマ州) と姉妹都市の提携をして以来、相互に青少年の派遣と受け入れを行っています。今年度は受け入れの年に当たり、7 月 24 日から 8 月 2 日まで、同市の青少年訪問団が来市しました。今回、同訪問団の活動と、市が進めている『多文化共生のまちづくり』を紹介します。

国籍や文化の違いを認め合い、
元気で暮らせるまちに

市民ボランティアの活躍
 この事業は、市原市国際交流協会 (下側参照) の会員や過去に本市からモバイル市を訪れた派遣生などのボランティアにより、支

多文化共生のまちづくり
市民の 50 人に 1 人が外国人

平成 22 年 8 月 1 日現在、本市の外国人登録者は 5123 人 (54 力国)。この 10 年で 1400 人増え、本市の人口の約 2 パーセントを占めています。

多文化共生事業の推進
 外国人市民が増える中、日本人と外国人市民が共に理解・協力し合って暮らすことができるまち (多文化共生のまち) をつくるため、市は、県内初の多文化共生プランを策定しました (平成 18 年度)。
 市では同プランに基づき、姉妹都市などの交流事業や外国人の暮らしをサポートする事業などを行っています (下側参照)。そのほか、異文化理解教育の一つとして、平成 8 年から、本市とモバイル市などの小・中学校の児童・生徒が手紙の交換などを行っています (平成 22 年度 II 白金・市西・光風台・ちはら台桜小学校と千種中学校が実施)。

自ら笑顔であいさつを

文化や習慣などが異なる国の人と共に暮らすためには、互いを知ることが大切です。まずはあいさつから言葉を交わし、交流することで、互いの違いに気付き、理解を深めることができます。地域住民としての結びつきを強くすることにより、共生のまちづくりを進めましょう。

問合せ先

人権・国際交流課
 ☎ 23-99826

いちほら観光ナビ

— 9 月 —

問合せ先 商業観光課 ☎ 9755

開催日	イベント名	時間	場所	問合せ先
26 (日) まで (9/6 (月)、13 (月)、21 (火) は休館)	夏休み展 Sense of Reality — 僕らの世界の つくり方 —	9:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)	水と彫刻の丘	同館 ☎ 98 1525
4 (土)、5 (日)、 18 (土)、19 (日)	小湊鐵道里見駅 駅喫茶	9:00 ~ 16:00	小湊鐵道 里見駅	同駅 (開催日 のみ) ☎ 96 0044
21 (火) ~ 25 (土)	市原の物産展	10:00 ~ 19:00	サンプラザ市原 ペDESTリアン デッキ	市原商工会議所 ☎ 22 4305
23 (祝)、24 (金)	小湊鐵道 懷石料理列車	10:40 ~	同鐵道五井駅 ホーム集合	同鐵道 ☎ 21 6771
26 (日)	五井にぎわい広場	10:00 ~ 15:00	梨ノ木公園	同行事運営委 員会・加曾利 ☎ 26 9722

外国人の暮らしをサポート

外国人が暮らしやすい環境づくりのため、次の活動が行われています。参加 (利用) 方法など、詳しくは人権・国際交流課に問い合わせてください。

- **市の活動**
外国人相談、外国人市民会議、行政情報の多言語化など
- **市原市国際交流協会 (※) の活動**
通訳・翻訳ボランティア、外国人児童・生徒のための学習教室、日本語教室、各種交流事業 (国際交流フェスティバル、世界の料理教室など)

※ **市原市国際交流協会**
Ichihara International Association.
 ボランティアの協力のもと、姉妹都市交流事業や外国人市民の支援活動など



①日本語教室
 ②外国人市民会議
 ③国際交流フェスティバル

どを行っています (平成 3 年設立)。通訳として、市内の保健施設や町会で活動することもあります。詳しくは同協会 (人権・国際交流課内) に問い合わせを。